

# 東光寺たより 43

## 今年最後の稽古

寺庭の己書の稽古も今年最後でありました。皆真剣に楽しく書きあげておりました。無事に今年も稽古を終える事が出来てホッとしております。来年も生徒さんたちよろしく頼みますね。



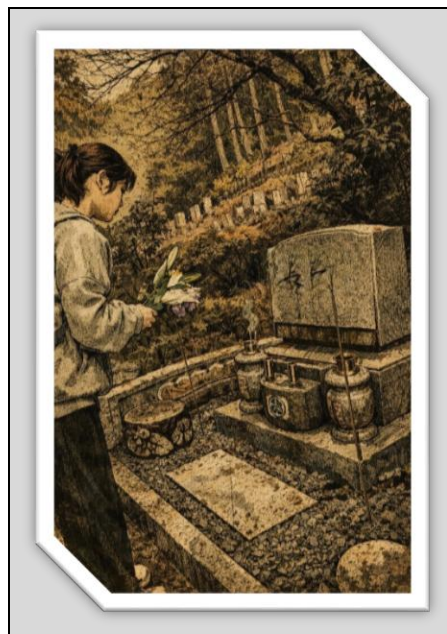
## 紹興和尚毎歳忌を勤めました

住職のお祖父さん（紹興和尚）は大学の先輩でもありなかなか人格者であったと存じております。全然被ってもおらずその人となりを知るのみで、ああこんな感じの人だったんだなぁと想像するのみです。ですが住職とみてくれがそっくりだそうで、遺影を見ては今の住職か？若はいつの間に遷化したの？と問い合わせが舞い込むくらいです。紹興和尚は美濃加茂の伊深という地域でお寺さんの勉強を積んでおり相当厳しい環境に身を置いてたんだと惚べれます。なんでまたそんな厳しいところへ赴いたんだ？他にも在るじゃないかと言いたいところですが、最終的には本人の意思なんでしょうね。住職もいつかその質問を紹興和尚に投げかけてみたいです。どんな応えが返ってくるのでしょうか？そうこうして年末は 29 日必ずお経を誦んで身内でひっそりと過ごす住職でした。



## お墓掃除に勤しむ♪

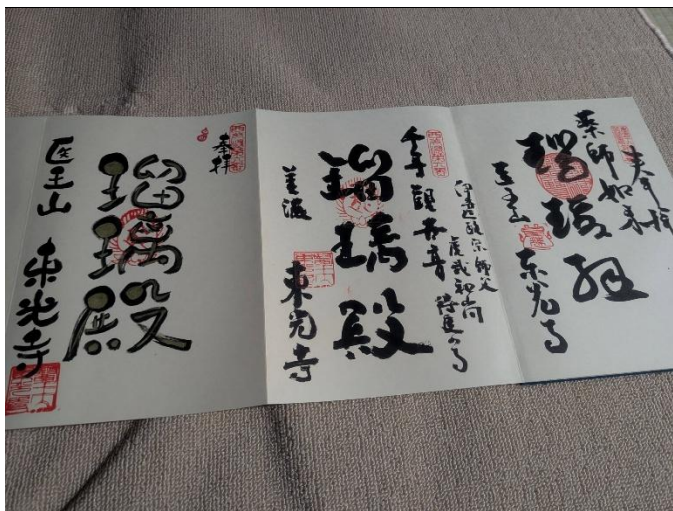
お祖父さんの命日の日は家族総出でお墓へ掃除に赴き、綺麗な姿でお正月を迎えられるようにと。久しぶりに家族全員で過ごした一刻でした。





## 御朱印の功德 ♪

御朱印は元々は、写経を奉納した証としていただくものなのですが、現在では写経を納めなくても参拝の印として数百円でいただくことができます。御朱印の本来の主な意味合いは願掛けだったとされており、神様仏様に手を合わせるだけでなく、強く願いを叶えてくれる写経を奉納する必要があったのです。写経は、仏典の保存や先祖供養、祈願成就、精神の安定などを目的として行われており、お経を書くという事は唱えることにも通じ、納経した証として御朱印をいただくというのが元々の意味です。御朱印は開運やご利益を得るためのものではなく、本来の意味は「参拝の証」として授かるものなので、御朱印自体に功德があるわけではありません。参拝の証として、旅行の思い出やコレクションとして大切に保管すると良いでしょう。とある上記の内容をふと読む機会がありました。なるほど、御朱印自体に功德は無いという訳ですが、よくよく思い起こせば、どういった経緯でお寺に御朱印を求めに参ったのか？ここに至る経緯は？ネットか？参詣客の願いだろうか？観光か？色々有るやもしれませんね。ここに誘われた理由を今一度思い起こしてみたら、それが功德に繋がると念じて止まない住職でした。



## おせち料理を作る ♪

大晦日はおせちの準備や雑煮の支度に勤しむ当山の家族です ♪ 皆さんはどんな雑煮がお好みですか？西濃でしたら赤だしもしくはすましの雑煮でしょうか？メジャーなところは・・・ですが実は白みその雑煮

も趣深くて良いですよ。住職が初めて白みその雑煮を食したのは専門道場の元旦の粥座（朝食）でした。若干 22 歳の住職はカルチャーショックでシチューが出たと驚愕したのですが、これが実にまろやかで癖にある味わいでした。今はさすがに赤だし派ですが、一度騙されたと思って白みそもご賞味あれ ♪



## 2025 年暮れてゆきます ♪

今年も無事に暮れていこうとしています ♪ 色々有った年でしたが終ろうとしている時に至っては全てが思い出に変わろうとしています。全てが良い思い出ではありませんでした。ですが今年一年ご縁の有った関係各位に感謝を捧ぐ住職でした。



文責 “東光寺” 英隆